

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
210011001	潜在能力の開発 Development of potential ability	学長・学部長・教務委員長・ 学生委員長・就職指導委員長・ 寺部副理・同窓会長			2	必修	1前期
科目の概要							
<p>本学の教育目標であるディプロマポリシーのDP1では四大精神・社会人基礎基礎力・pisa型学力を、DP2では各学科の専門分野から社会に貢献できる知識・技能を、DPで3は常に自己研鑽する習慣を、それぞれ修得することが目指されている。本科目は各人が4年間の学びの中で、これらDP1、DP2、DP3の基盤を作り上げるために設定されている。また、この科目は本学独自の「自学・共学システム『学びの泉』」学修プログラムを理解することを同時に目的としている。</p>							
学修内容				到達目標			
① 家政学部の教育目標を理解する。 ② 「自学・共学システム『学びの泉』」を理解する。 ③ 自己ビジョンを明確にする。 ④ 寺部だい自伝「おもいでぐさ」を熟読して四大精神を理解する。 ⑤ 「私のおもいでぐさ」を作成する。				① 大学4年間での学修目標を明確に理解することができる。 ② 「自学・共学システム『学びの泉』」を理解し、自己の潜在能力を開発することができる。 ③ 自己ビジョン達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができる。 ④ 「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を熟読することにより、大学生活の中で四大精神を実践することができる。 ⑤ 「私のおもいでぐさ」を作成することで自己成長の「種」に気づき、豊かな人間性を育むことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	目標・目的を達成するために、自らやるべきことは何かを能動的に考えることができ、その考えを行動に結びつけることができる。					
	働きかけ力	目標・目的を達成するために、人・物（資料）に働きかけができる。					
	実行力	目標・目的を達成するために、自ら決めたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。					
考え抜く力	課題発見力	目標・目的を達成するために必要な知識・技能を獲得・活用して課題を発見ができる。					
	計画力	目標・目的を達成するために、課題解決のプロセスを明確にし、何をいつまでに実行するか計画を立てることができる。					
	創造力	目標・目的を達成に必要な知識と技能を活用して、課題解決策を複数提案することができる。					
チームで働く力	発信力	目標・目的を達成するために、自分の意見・考え・提案を分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。					
	傾聴力	目標・目的を達成するために、対話する相手にとって話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。					
	柔軟性	目標・目的を達成するために、自身と異なる意見・考え・提案も受容し、それらを含めた複数の意見・考え・提案を整理して判断することができる。					
	状況把握力	目標・目的を達成するために自分の立場・役割・使命を理解し、物事がどのように進行しているか把握することができる。					
	規律性	目標・目的を達成するために、チーム内のルールや慣習を守りながら活動を進めることができる。					
	ストレスコントロール力	目標・目的の達成を目指す中で、負担をストレスとしてではなく自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト： ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」（安城学園発行、寺部だい著） ・「自学・共学システム『学びの泉』 習性・徳性・身体・感性・行動の5つをバランス良く鍛える（学泉ノート）」（愛知学泉大学発行、学びの泉開発委員会） ・Campus Life 2024（学生便覧） 参考： ・愛知学泉大学建学の精神 https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/idea.html ・愛知学泉大学 教育スタイル https://www.gakusen.ac.jp/u/univ/kisoryoku.html							
他科目との関連、資格との関連							
本科目は家政学部の教育目標を達成するため、また、本学独自の「自学・共学システム『学びの泉』」を理解するために3学科共通の初年次科目として配置されている。							
学修上の助言				受講生とのルール			
将来の自分を描けるよう自己ビジョン（目標・目的）を持つことが重要である。授業には自ら望んで受講しているという意識を持ち取り組んでほしい。				自ら自己成長することを目的に受講しているという能動的な意識を持って受講すること。 授業内で決められたルールは、必ず守ること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	小テスト		0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	レポート		90	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

提出されたワークシートや課題に対して、本授業の到達目標の項目で評価をおこなう。
 ①大学4年間での学修目標を明確に理解することができる。
 ②「自学・共学システム『学びの泉』」を理解し、自己の潜在能力を開発することができる。
 ③自己ビジョン達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができる。
 ④「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を熟読することにより、大学生活の中で四大精神を実践することができる。
 ⑤「私のおもいでぐさ」を作成することで自己成長の「種」に気づき、豊かな人間性を育むことができる。

以下の能力評価方法は、前項の学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例より評価する。
 <主体性>目標・目的を達成するために、自らやるべきことは何かを能動的に考えることができ、その考えを行動に結びつけることができる。
 <働きかけ力>目標・目的を達成するために、人・物（資料）に働きかけができる。
 <実行力>目標・目的を達成するために、自ら決めたことは確実に成し遂げようと行動し続けることができる。
 <課題発見力>目標・目的を達成するために必要な知識・技能を獲得・活用して課題を発見することができる。
 <計画力>目標・目的を達成するために、課題解決のプロセスを明確にし、何をいつまでに実行するか計画を立てることができる。
 <創造力>目標・目的を達成に必要な知識と技能を応用して、課題解決策を複数提案することができる。
 <発信力>目標・目的を達成するために、自分の意見・考え・提案を分かりやすく整理して、相手に伝えることができる。
 <傾聴力>目標・目的を達成するために、対話する相手にとって話しやすい環境をつくることができ、相手の話の内容をさらに明確にする質問ができる。
 <柔軟性>目標・目的を達成するために、自身と異なる意見・考え・提案も受容し、それらを含めた複数の意見・考え・提案を整理して判断することができる。
 <状況把握力>目標・目的を達成するために自分の立場・役割・使命を理解し、物事がどのように進行しているか把握することができる。
 <規律性>目標・目的を達成するために、チーム内のルールや慣習を守りながら活動を進めることができる。
 <ストレスコントロール力>目標・目的の達成を目指す中で、負担をストレスとしてではなく自分の成長の機会だとポジティブに捉えることができる。
 以上の12の能力要素は、ワークシートや課題と授業内での行動より評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
学修の到達目標を対象に評価する。 ①大学4年間での学修目標を明確に理解することができる。 ②「自学・共学システム『学びの泉』」を理解し、自己の潜在能力を開発することができる。 ③自己ビジョン達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができる。 ④「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を熟読することにより、大学生活の中で四大精神を実践することができる。 ⑤「私のおもいでぐさ」を作成することで自己成長の「種」に気づき、豊かな人間性を育むことができる。 ・①から⑤全ての項目が達成できている。…S ・①から⑤のうち4項目が達成できている。…A	学修の到達目標を対象に評価する。 ①大学4年間での学修目標を明確に理解することができる。 ②「自学・共学システム『学びの泉』」を理解し、自己の潜在能力を開発することができる。 ③自己ビジョン達成に必要な課題を発見し、解決する方法を明確にすることができる。 ④「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を熟読することにより、大学生活の中で四大精神を実践することができる。 ⑤「私のおもいでぐさ」を作成することで自己成長の「種」に気づき、豊かな人間性を育むことができる。 ・①から⑤のうち3項目が達成できている。…B C評価は授業計画「到達レベルC(可)の標準」に従う。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション(科目の概要)担当:学部長 大学での学び方① 担当:情報教育委員会/情報準備室 ・PCの利用について ・Google Workspaceについて classroomの使い方→資料や課題の受け取り/作成/提出 (googleフォームへの回答・ファイルの提出) meetの使い方	レクチャー・演習	・学則を理解することができる。 ・「自学・共学システム『学びの泉』」を理解することができる。	(予習) ・シラバスを確認しておく。 (復習) classroomの使い方…資料や課題の受け取り/作成/提出(googleフォームへの回答・ファイルの提出)方法確認の課題を作成し、提出する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	学泉大学で学ぶ① 担当:学園長・理事長 ・愛知学泉大学の教育方針について ・智性…pisa型学力とは	レクチャー	・「自学・共学システム『学びの泉』」のシステムを理解することができる。	(予習) ・CampusLifeの学則を読んでおく。 ・本学のHPで、教育方針を確認しておく。 (復習) ・教育方針と「自学・共学システム『学びの泉』」の活用方法を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	大学での学び方② 担当:教務委員会/学部長 読解力について RST(リーディングスキルテスト)	レクチャー、RST(リーディングスキルテスト)受検	・リーディングスキルテストを受検することができる。	(予習) ・リーディングスキルテストの概要を確認しておく。 (復習) ・リーディングスキルテストの結果コメントに従って改善のための学修をおこなう。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	学泉大学で学ぶ② 担当:理事長補佐・家政学部同窓会長 ・本学創立の教育信条について ・徳性…四大精神の実践とは	レクチャー	・創立者の教育信条を理解することができる。	(予習) ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を読んでおく。 (復習) ・創立者寺部だいの教育信条について整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	大学での学び方③ 担当:学部長 ・マインドマップの作成	レクチャー、演習、グループワーク	・マインドマップを作成することができる。	(予習) 自身の興味、関心の領域を確認しておく。 (復習) ・提示された課題を作成し、classroomから提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	大学での学び方④ 担当:教務委員長 ・ノートの取り方/質問の仕方/予習・復習の方法 ・レポートの書き方	レクチャー、演習	・授業への参加の仕方が理解できる。 ・レポートの作成方法が理解できる。	(予習) ・事前に配布された「レポートの書き方」についての資料を確認しておく。 (復習) ・提示されたレポート課題を作成し、classroomから提出する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学泉大学で学ぶ③ 担当:教務委員長 ・行動…社会人基礎力の実践とは 「学泉ノート(学修活動編)」を用いて自己の学修行動レベルを把握	レクチャー、演習(セルフチェック)	「学泉ノート(学修活動編)」を用いて自己の学修行動のセルフチェックができる。	(予習) ・「学泉ノート(学修活動編)」を読んでおく。 (復習) ・学修行動のセルフチェック結果を確認して今後の行動計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	学泉大学で学ぶ④ 担当:学生委員長 「学泉ノート(学生生活編)」を用いて自己の学生生活の行動レベルを把握	レクチャー、演習(セルフチェック)	「学泉ノート(学修活動編)」を用いて自己の学生生活のセルフチェックができる。	(予習) ・「学泉ノート(学生生活編)」を読んでおく。 (復習) ・学生生活のセルフチェック結果を確認して今後の行動計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学泉大学で学ぶ⑤ 担当：就職委員長・就職課 「学泉ノート（就職活動編）」を用いて自己の就職活動の行動レベルを把握	レクチャー、演習（セルフチェック）	「学泉ノート（学修活動編）」を用いて自己の就職活動への意識のセルフチェックができる。	（予習） ・「学泉ノート（就職活動編）」を読んでおく。 （復習） ・就職活動への意識のセルフチェック結果を確認して今後の行動計画を立てる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を読む① 担当：学部長 『おもいでぐさ』から創業者寺部だいの生涯を知る	レクチャー、演習、ディスカッション	・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を通読することができる。	（予習） ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を読んでおく。 （復習） ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」の内容を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を読む② 担当：丹羽 『おもいでぐさ』から「徳性：四大精神」を読み解く	レクチャー、演習、ディスカッション	・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」より四大精神を読み解くことができる。	（予習） ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を再読しておく。 （復習） ・「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」の内容を四大精神の観点から整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「寺部だい自伝『おもいでぐさ』」を読む③ 担当：学部長 ・「私のおもいでぐさ」の作成	レクチャー、演習	・「私のおもいでぐさ」の作成ができる。	（予習） ・自身のこれからの目標を立てておく。 （復習） ・「私のおもいでぐさ」を作成し、classroomから提出する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	学びを社会につなぐ① 担当：ニマイニタイ代表 廣中桃子 カディプロジェクトの取り組みを知る。	レクチャー、質疑応答	カディプロジェクトの取り組みを理解できる。	（予習） ・カディプロジェクトの活動について調べておく。 （復習） ・カディプロジェクトでの廣中氏の活動を寺部だいと比較し、整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	学びを社会につなぐ② 担当：学部長 ・授業内容からの気づきの共有	レクチャー、グループワーク、プレゼンテーション	・授業内容からの気づきをグループで共有することができる。	（予習） ・これまでの授業内容を振り返っておく。 （復習） ・授業での学修内容を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・コンクルージョン 学びを社会につなぐ③ 担当：学部長 科目のまとめ／4年後の自分と卒業後の自分	オンデマンド授業	・今後4年間の目標と目標達成のための計画を策定できる。	（予習） ・科目全体の学修内容を再確認しておく。 （復習） ・今後4年間の目標と目標達成のための計画を完成させる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力